

次世代技術活用人材育成事業

支援先

県内中小企業（重複を除く 43 社）

【内容】

本事業は、県内中小企業の研究開発人材の育成を目的とし、平成 28 年度から実施しております。人材育成を課題に上げる企業は少なくありません。特に、「自社製品の開発を始めたい、増やしたい」「そのための人材を育てたい」という要望に対応し、競争力のある研究開発型企業の育成を支援するため、以下の 3 つの研修を実施しました。

①基礎コース

期 間：令和 3 年 6 月 23 日、6 月 30 日、
7 月 7 日、7 月 14 日
(4 日間 全 9 講義)

修了者：11 社 16 名

内 容：研究開発に必要な基礎知識の修得



図 1 基礎コースの様子

②課題解決コース

期 間：令和 3 年 8 月 4 日から
令和 4 年 1 月 31 日まで

修了者：11 社 25 名

内 容：課題に取り組むことで解決に必要な基礎技術を修得（集合研修）
中小企業等の技術課題を解決しながら開発手法を修得（企業別研修）

③技術修得コース

期 間：令和 3 年 7 月 6 日以降随時
(各設備 半日程度)

修了者：31 社 151 名

内 容：研究開発に必要な操作技術の修得



図 2 技術修得コースの様子

【研修の成果】

課題解決コースの CAE 解析コースを受講した昭和電工マテリアルズ浪江株式会社では、研修を通して取得した技術を活用し、製品の軽量化に取り組んでいます。同じく、IoT 活用コースを受講した株式会社長崎プレス工業では、研修を通して試作した見える化システムの社内設備導入に向けて改良を進めています。

表 1 基礎コースの内容

課程	実施内容
共通カリキュラム	センターの業務紹介、知的財産、産学官金連携等
開発設計者	自社製品開発事例、製品開発、プロジェクトマネジメント等
マネジメント	市場とマーケティング

表 2 課題解決コースの内容

コース	実施内容
CAE 解析	解析・シミュレーション技術等
IoT 活用	在庫管理システム・画像処理技術等

表 3 技術修得コース内容

コース	対象機器
計測機器・ 材料試験・ 産業用ロボット	三次元測定器、3D プリンタ、産業用ロボット安全特別教育（教示・検査）、スガ摩耗試験機等
分析機器・ 性能試験	走査型電子顕微鏡、赤外線分光光度計等
EMC 試験・ 宇宙関連機器	RF イミュニティ機器、EMI 機器、耐ノイズ試験機、電磁界可視化装置等
射出成形機	射出成形機
耐候試験・ 材料試験	分光測色計、メルトインデクサ等
分析機器	X 線回析装置、蛍光 X 線分析装置、熱分析装置等

基礎となった事業

令和 3 年度 次世代技術活用人材育成事業

現在の担当グループ

I T ・ マテリアル G グループ長 若生 進一 TEL : 0292-93-7482
技 師 中山 恵介
会計年度職員 沖島 由幸
会計年度職員 田畑 彰文